十月十日清ちのとのこのへよ
せんのきこのおまへより結ノ
一 きこゑせんきゝきゝや（六四）あおりやへふし
すゑとまいておれちへ
あちおそいよ鳴のちこおやせ
又 ともむきゝもよこきや
ませ添かておれちへ

又 あまこやかゝすへのこゝゝ
屋きゝゑ
又 ちよりやかゝあいらへきこゝ
屋きゑ
又 さしふおころふこゝま
ふてすおれされ
又 むいきせころよかい

又　ふそすおれなれ
大きこきやあさうすてる
かはそのるてゝ

首里天きやすへあんしおそいかなし

首里おもろの御さうし

天啓三年癸亥三月七日

第五

書出さなし

三三三　此の折合せ一枚目の裏は一二段は○き出し○○たし

ゑのちわくと

てふてねてふこ

そふちわくと

てふてねてたこ

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

一首里の て た と
天 ふ て て て と
まぢ ゆふ ちよ れ
みこか ふし て さ と
て ふ て て て こ と
又 て こ いち ろく と
て ふ て て て こ と

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

又てゝちろくと
てふてるてたそ
一 首里ちよちへ
うらまさまのぬし
てたよいそやざうゑ
きもそてむ
又 くすくちよきちへ
八

一 きこゑ首里もりのくて
いけそよのあけて
てたのてゝるやふ
又 ましくまもりのんていけそ
一 首里もりよ
きゝおやくふよ
あま思ふさまちへ

又よるひのこのすよ
こうやくるひのゝすよ
一きこゑてもりきさゆわり
けゝてのちまさる
世ゝけひやしこおやせ
又きこもあしかゝもし
あしうゝおりあけて

又たけたゝくこゝり
ひわしくおりあけて
一首里おるてゝた
こゝたましがさ
けゝてたまこゝ体
もちこゝつくすく
又くすくおるてたこゝ

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

（七）

一 たまゝしきけゝへて
志てもとりけらへて
けゝへゆるきよゝや
かこしヽと乃
世ころゑるくすく

又 まくさゆりけゝへて
けゝへゆるきよゝや

（八）

一 たゝこふきやさいく
くゝきやめそてゝて
志てもりもりこく稀
すゝまことゝへて

又 ゆるゝこふきやさいく
おわりきやめそてゝて

（九）

一 きゝこゑあちおそいろ

ひやしちやうし
けらへてやしちへて
そろゑら世れもで
うちちゑしおやせ
又 そでむあちおそいしや
一 又 きこへあちおそいしや
あうたちやうしあけ

しちゑりしてたの
そろてかゝるよりちへ
又 そでむあちおそいしや
すへのちやうしあけしらへ
又 おもろりしたり風て
又 くせせむしよたりつて
一 おもひゆくふしや

琉球大学図書館

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

よ祢りいそけらへて
かくらあはりくもこ
こちへことやせ
又 みおもろしやくか
よ祢りいそけらへて
又 てふかしまふりおそて
よ祢りいそけらへて

又 ちいろそこあらち
よ祢りいそけらへて
（一二）
一 首里まらやおもの
いつまちへこち名
こゝしうらやれこゑん
又 くすくゆちやおもん
（一三）
一 志まりもりくすく

15

ちへむ世そいもり
よのかわう世まほ
せちゝお成せ
（一四）
一又まさく森くすく
首里まさく森り
せたかあちおそいや
ききよせきてらくせゝん

（一五）
又こゝみ乃もちはゝや
せゝくゝあちおそいや
一あかけのすりあり
底かゝうこゝろゑ
おちゑあゝあかさい
きゆ乃ちまさりてはて
又きゝみれもち月こや

琉球大学図書館

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

一 きうちぬくしきよ
世うるゑさのしゆ
けおのめつゝしや
又 けおのゆるひふ
又 けおれこやるひふ
ちやのうらのふゝ
又 うりれうらのさけ

又 くすくたちもとし
一 きてちゑあけるこや
くやゑゝいきよせ
せんよせけゝへ
又 くすくあけるゝやう

（一六）
一　しちやふくしきよ
世うるゑさのしゆ
けおのめつらしや
又　けおのゆるひふ
又　けおれきやるひふ
ぢやのうらのふい
うりれしらのさけ

（一七）
一　首里あちよもいや
まうてゝすきゝしきれ
又　くすくたちよわひや
（一八）
一　してあはるころや
くやゑいきよせ
又　せんよせけゝへ
又　くすくあはるこやう

（一九）あつろかやろのふし

一 しちりもさちよ
こゝろおきやかれい
うふし天よりしての
そうふせてゝ
又 ゆこまりちよる
（二〇）
一 してまりちよ
さる せそう せち

ちよさ ち ゑ
（さ日ゝ子）
てらぬそす ゆふて
よさ ちよされ
又 まさゆりちよる
又 てるくもふしてれ
又 おそても屋けれ
又 さし ふてるくもふ

又す川きてる滝りん
又うまう廣さるせらん
又むゝすまやまさり
又けさうすやまさり
又かゝ志ことさそろ急て
又ぢくふれそゝろへと
又天ゝ志てさそろへて

又てるゝそゝうさし志よ
一首里ちゝさいく
まぬおもんけゝて
世まさりれおもやひ
志てよさりしとちよされ
又くすくちゝさいく
すゑのおどんけゝて

又 大ころこ　たゝへて
又 押しこゝ　たゝつて
又 おやのろ　たゝつて
又 みやきせんれ　あすさ
わかてゝ　あてよる　ほゝい
(二三) あかりやへ
一 くふのさゝ　もちよる
大世れぬし　まん

又 おそいよりし　すゑ
又 そろゑて　ちよわれ
又 くもこまり　おやのろ
又 きてもまり　おもて
又 浦くまり　あわれて
又 てるかさ　たゝつて
又 てるしれ　そ　たゝつて

十一

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

（二三）あわうやへうゑし

又きこゑしそだゝへて

一首里まりぐすく

しまこがふぐすく

ちりしすゑもひや

くきすぢまられ

又まさまりぐすく

くふこが○ぐすく

（二四）しうゑそいのわやのうゑし

一たまのこそてゝあし

しまりまりけゝへて

ゝみしもれそくさ

せちことやせ

又けゝへこそてゝあし

まさまりけゝへて

又しまりまりちゝる

（二五）うらおそい おやのろふし
一 きこゑ きよすてふ
けらへ ゆきふさう
ちへまもり おれわちへ
世そう せぢ おこちや
かりい ふさ おやせ
又 そこむ ゆきさふわう
まさき まもり おれわちへ

又 きこゑ ぢや まりたくゑ
くもこ こより おりて
又 きみ みや よりたちえ
（二六）こらぢ おやのろふし
一 たまの こゑて やし
こうふ ゆもちえて
けらへ こゑて やし
うこ すちや そわて

十三

かこ里よそちへ
又 あうれ ゑけ大ぬし
ゑてす もり大ぬし
又 かゑふたふ おろちへ
いつこたふ もろちへ
一 あかるいの大ぬし
世そりせち あち

あれいてきやあさ
せち 屋り やりちよれ

又 ここくふ てま
世そりせち あちおそい
一 あまこや そちまころ
あまりもりくすく
これとこ 杯うちふ

かこ里よきちへ
又 あうれあけ大ぬ
おてすもり大ぬし
又 かゐふたふおろちへ
いりこたふもろちへ
（二七）
一 あかるいの大ぬし
世そうせちあち

おそい天こうやきこ
せち成りやりちよわれ
又 きこへくふせ里きよ
世そうせちあちおそい
（二八）
一 あまみやすちまもら
ちいまりくすく
これとこ係うちふ

ゑしころ
又　しねもや　そらまころ
一（二九）まこまりくすく
あまこきよ　まさいく
してうり　けって
けゝへ居り　おきや
かりい　小こお　ゆせ

35
又　しねまや　こゝまさいく
まこまりけって大
一（三〇）あまこきよる
しまそ治くて　やらちよ
ゑそゆやすゑ　おうや
かりい　小ゝお　だせ
又　しねま居こゝハ大しまも

（三一）あまみきやへのふし

一　あまみきよは　うざしし
せてよ　この大しま
おれわちへ　せめすれ
又　おきやりは　すゝちきれ
又　きこゑつまや　こゝろざし
又　きてよいち　たきまおれされ
又　あしだるもてぬき
あけもちまさびとゝけゝふ
又　わうざきもて　ぬきあけて
とうきびと　ほけゝふ

（三二）

一　ふぜこゝろ　おもりろ
とくほかこゝろを　くるさやめ
これど風ふ　ひきさきよむ
又　きべるゝ　せるむ

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

一 ふ屋うらか おもりわすく
おものけらへて かみ志む
のらねする きよらや
一 ゆくいきよか おもろ
みそふや すへてさ
かうち せひろく
せふぐくち よられ

又 ゆくいきよか せるむ
一 さろち きてよか おもろ
こゝ祢さ ちろく
屋ふもりし すみ
これど いちみそむ
又 さぢちきてみか せるむ
又 志てもり もりくすく

こゝ祢もちろく屋ふ
又　こゝやゝまくらあくらや
（三六）
一　きこゑちきよゝおりろ
おゑ渡きこゝせるむ
もりすゑれとちゑてむ
又　きこゑくすくおとの
とてむくすくおとの

又　よせくゝまゝよせて
まちゆのあそへつて
（三七）
一　あんのゝ祢くすく
あまゑ屋りこおやせそ
すへまろてもひやくさす
ちゝゑれ
又　首里もりくすく

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

あまゑ屋りこおやせく
又 あまゑ屋りこやせく
こゝろゆるこゝき
(三八)
一 たよん中こそや
てくあぢよりおよ
まさりよろされ
又 たよんこ祢流こさや

(三九)
一 たよん中こそや
又 みゝふしめてこ
又 もしこうおそふちよそちへ
世そそをまふちよそちへ

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

み
あまゑ屋りこおやせそ
あまゑ屋りこゝやせそ
こしわゆるいこき
（三七）一たよん中ゝこ〇や
とくあぢよりおよ
まさりよきれ
み
たよんこ孫流こうや

（三九）一たよん中ゝこ〇や
あやしよぬゝ孫だこや
これどあんのきをしてく
又
きてきまおゝるてたこ
みゝふしれてここ
又
もしこうおそふちよこちへ
世そゝまふちゝかこちへ

又 ゐちへおされてきこうや
はちゑおされてこ行や

(四〇)
一 ふかこすきよもん
うらすはききよね
ゑてりこきやんうち
あまやうせ

又 かふいゑちゑこてよね

(四一)
一 さくけゑちゑこてよね
ふかこすきこよもん
かすはきききてよね
こしくちゑあんし
おそいゑやせ

又 あかんこおもろ
すそいんここをめろ

又 まし〳〵かふ おもい
あこよせて おゝは
（四二）あかやこふし
一 あかこさきや おもろ
くらまこしや あもの
ちもしとおかて かかおらふ
又 ちしれくらまりふ
ゆこいまし すれは

又 ちてもりもり ち よころ
世まこり乃 おきやか
又 まこまもり ちよころ
世まこりの おきやゝ
又 ひやく さこふ ちてよ
（四三）こえのあこし
こち ゑ 世まこりれ おきやゝ
一 あんの あゝこうちや

Digital image © 2009 University of the Ryukyus Library

くちまさしや　あお
よひろくよふくちよられ
又　そしれちまさふ
よこしこおやせ
（四四）あおりやへがふし
一　あかるさきやおわろ
あすもりれよもり
すでゝりよこおやせ

又　けおのよるひふ
（四五）あおりやへがふし
一　あかうりきやおわろ
あかうりきやせらむ
おもひくろすそひや
くさよちよられ
又　けおのゆるひふ
けよのこやるひふ